

東亜フォーラム（特別編）

大国中国と日本—中国をどう捉え、いかに向き合うか

この四半世紀ほどの間に、日本からみえる中国の姿は大きく変容した。この間、私たちは、中国の変容をどこまでの確に捉えることができたのだろうか。過去に描いた中国の将来像と、いま目にしている現実の姿とはどのように異なり、またなぜ異なるのだろうか。そしていま、中国の現状と、その向かう先をどのように捉えるべきだろうか。

本フォーラムは、内政、経済、外交、軍事、台湾を含む多角的な視座から、とりわけ 2000 年代後半から現在を焦点に、中国がどのように変容してきたかを再検討し、その現在地を捉え、将来を見通す。そして、既存の国際秩序がもたらす平和と繁栄を維持する観点から、日本は中国といかに向き合うべきかを討論する。

日 時：8月5日（月）13:00 開場 14:00～17:30

場 所：霞山会館「霞山の間」（対面のみ）

（東京都千代田区霞が関三丁目2番1号 霞が関コモンゲート西館37階）

登壇者：

挨拶：阿部純一（一般財団法人霞山会理事長）

基調講演：加茂具樹（慶應義塾大学総合政策学部長・教授）

パネリスト：飯田将史（防衛省防衛研究所理論研究部長）

駒形哲哉（慶應義塾大学経済学部長・教授）

佐野淳也（日本総合研究所調査部主任研究員）

福田円（法政大学法学部教授）

増田雅之（防衛省防衛研究所地域研究部中国研究室長）

総括：大橋英夫（専修大学経済学部教授）

会 費：1,000 円（消費税含む）／学生の方は無料

お申し込みはこちらから↓

<https://www.kazankai.org/media/sm/a1327>

霞 山 会

03-5575-6301

koudoku@kazankai.org